

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-023311

(43)Date of publication of application : 24.01.1995

(51)Int.Cl.

H04N 5/64
 B60R 11/02
 G09F 9/00
 H04N 5/765
 H04N 5/781

(21)Application number : 05-164348

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 02.07.1993

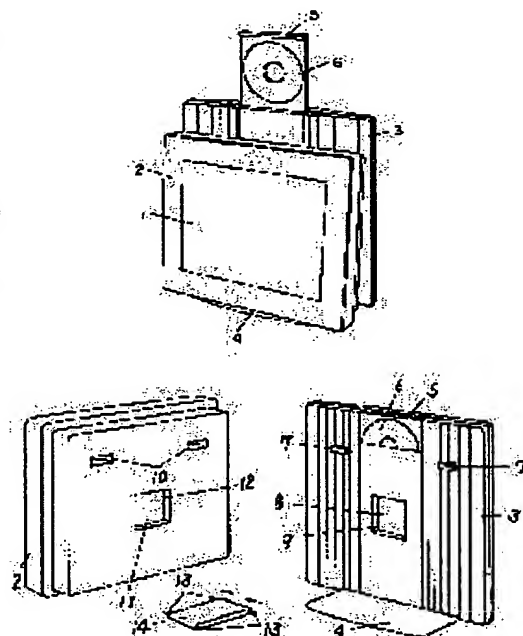
(72)Inventor : NAITO EIICHIRO
 MAENO HIROYUKI
 TAKEMASA HIROFUMI
 SHIMIZU KAORU

(54) VIDEO EQUIPMENT AND VEHICLE SHEET

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a TV receiver whose depth size is short or fixing area is small and to make it possible to hang the receiver on a wall or store it in a vehicle sheet by fixing a disk player or a VTR in approximately parallel with the rear part of a thin display part so as to move it in parallel.

CONSTITUTION: The thin display part 1 consists of liquid crystal or a thin cathod ray tube (CRT) and built in a casing 2 together with a signal receiving circuit and a speaker. Two hook-like recessed parts 10 are symmetrically arranged on the rear side of the casing 2 in the vicinity of the upper end side and a recessed part 11 is arranged on the center part. The disk player 5 is stored in the upper end side center part of the casing 3 so that an optical disk 6 loading board can be inserted/ejected. Two hook-like parts 7 and a recessed part 8 respectively corresponding to the recessed parts 10, 11 are arranged on the casing 3. A connecting member 14 is also prepared as a means for uniting the casings 2, 3. The casings 2, 3 are unitedly connected by the means 14 so as to be moved in parallel.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.02.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 22.05.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-23311

(43) 公開日 平成7年(1995)1月24日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/64	5 3 1	7205-5C		
B 6 0 R 11/02		C 8012-3D		
G 0 9 F 9/00	3 6 3	7610-5G		
H 0 4 N 5/765		7734-5C	H 0 4 N 5/ 781	5 1 0 A

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平5-164348

(22) 出願日 平成5年(1993)7月2日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 内藤 英一郎

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 前野 博之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 武政 廣文

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

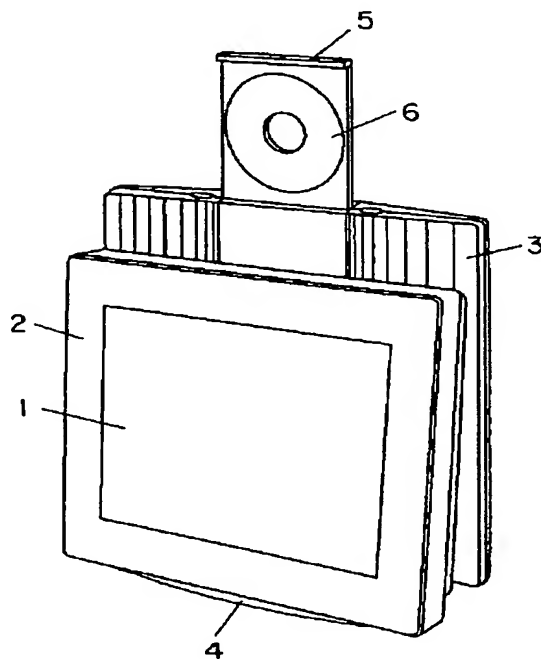
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 映像機器と乗り物用シート

(57) 【要約】

【目的】 奥行き寸法または据えつけ面積の小さなディスクプレーヤー一体形テレビジョン受信機を提供し、壁掛けまたは乗物用シートへの格納を可能にする。

【構成】 薄形表示部1の後面部に略平行にディスクプレーヤー5またはVTRを平行移動可能に取り付けた構成。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 概略鉛直方向に配置した薄形表示部の後面部にこの薄形表示部と略平行にディスクが位置するようディスクブレイヤを配設したことを特徴とする映像機器。

【請求項2】 前記ディスクをフロッピーディスクまたは光ディスクとしたことを特徴とする請求項1記載の映像機器。

【請求項3】 前記薄形表示部を液晶または薄型陰極線管としたことを特徴とする請求項2記載の映像機器。

【請求項4】 概略鉛直方向に配置した薄形表示部の後面部にこの薄形表示部と略平行にディスクが位置するようディスクブレイヤを備え、前記薄形表示部の筐体と前記ディスクブレイヤの筐体とを個別に構成し、一体化したことを特徴とする映像機器。

【請求項5】 概略鉛直方向に配置した薄形表示部の後面部にこの薄形表示部と略平行にディスクが位置するようディスクブレイヤを一体的に連繋し、前記薄形表示部と前記ディスクブレイヤとを相対的に略平行移動可能に構成したことを特徴とする映像機器。

【請求項6】 前記薄形表示部の後面部に前記ディスクブレイヤを一体的に連繋する手段として、リンクを形成する連繋部材を用い、前記薄形表示部と前記ディスクブレイヤとを相対的に略平行移動可能に構成したことを特徴とする請求項5記載の映像機器。

【請求項7】 前記連繋部材として矩形板の端部に4箇所の支軸を出入り可能に配設したことを特徴とする請求項6記載の映像機器。

【請求項8】 前記薄形表示部と前記ディスクブレイヤとを分離可能に構成したことを特徴とする請求項7記載の映像機器。

【請求項9】 前記ディスクブレイヤの端部に把手を配設したことを特徴とする請求項6記載の映像機器。

【請求項10】 前記把手をディスクブレイヤの筐体内に格納可能に配設したことを特徴とする請求項9記載の映像機器。

【請求項11】 概略鉛直方向に配置した薄形表示部の後面部にこの薄形表示部と略平行に位置するようビデオテープレコーダを配設したことを特徴とする映像機器。

【請求項12】 背面に請求項1または5記載の映像機器を配設したことを特徴とする乗り物用シート。

【請求項13】 背面に請求項1または5記載の映像機器を格納可能に配設したことを特徴とする乗り物用シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、情報担体ディスクを再生または記録するディスクブレイヤ、またはビデオテープレコーダ（VTR）を一体化してなる映像機器たとえばモニターテレビやテレビジョン受信機と、前記映像機

器を背面に備えた乗り物用シート（座席）に関するものである。

【0002】

【従来の技術】光ディスクまたはフロッピーディスクなどの情報担体ディスクを再生するディスクブレイヤを一体化（または内蔵）してなる映像機器としては、たとえばゲーム用パーソナルコンピュータ（PC）や見開き形（ヒンジ形）の電子ブックやワードプロセッサ（WP）が提案されている。

10 【0003】また、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダ（VTR）とを一体化してなるビデオ一体形テレビが提案されている。

【0004】さらに、背面に薄形表示部たとえば液晶パネルからなるテレビジョン受信機を配設してなる乗り物用シートが提案されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の映像機器においては、表示部とディスクブレイヤ（またはVTR）とがほぼ直交する配置構成となっ

20 ている。
【0006】すなわちPCなどにおいては、鉛直方向に配置した薄形表示部と直交するL形の鉛直方向にフロッピーディスクブレイヤが配設されている。また、鉛直方向に配置した薄形表示部と直交するL形の水平方向にディスクブレイヤが配設されている場合も有る。

【0007】ビデオ一体形テレビにおいても同じく、CRTからなる表示部に対しL形の水平方向にVTRが配設されている。

30 【0008】さらに、電子ブックやワードプロセッサ（WP）では、薄形表示部を閉じた状態において、薄形表示部と平行する形で、かつ薄形表示部と対面することくディスクブレイヤが配設されている。また、携帯形のビデオ一体形テレビにおいてもVTRが同様の構成となっている。従って、従来の映像機器においては奥行き寸法が大きく、据えつけ面積も広くなるという問題点を有していた。

【0009】また、乗り物用シートに備えた薄形テレビジョン受信機の後面部にディスクブレイヤまたはVTRを一体化した構成は提案されていない。

40 【0010】本発明は上記課題を解決するもので、映像機器の奥行き寸法を小さくコンパクトに構成し、また据えつけ面積を少なくすることを目的とするものである。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために、テレビジョン受信機等を構成する映像機器の薄形表示部たとえば液晶や薄型陰極線管からなる表示部の後面部に、前記薄形表示部と略平行にディスクブレイヤまたはVTRを備えた構成としている。

50 【0012】また、前記薄形表示部とディスクブレイヤとを個別の筐体でそれぞれ構成し、相対的に略平行移動

または取り外し可能に構成してなる。

【0013】

【作用】本発明は上記した構成により、映像機器の奥行き寸法を小さくコンパクトに構成し、また据えつけ面積を少なくする。また、壁掛け型の映像機器を構成したり、乗り物用シート背面への格納を容易にする。

【0014】

【実施例】（実施例1）以下、本発明の一実施例についてスタンド型（直立型）のディスクプレーヤ付テレビジョン受信機の例により図面を参照しながら説明する。

【0015】図1はディスクプレーヤ付テレビジョン受信機の正面方向から見た斜視図、図2は薄形表示部の筐体（キャビネット）とディスクプレーヤの筐体（キャビネット）とを相対的に略平行移動した（ズラせた）状態の斜視図、図3は図2において光ディスク搭載部を引き出した状態の斜視図、図4は薄形表示部の筐体とディスクプレーヤの筐体とを取り外し分解した状態の斜視図を示す。

【0016】図1から図4に示すごとく、本発明のディスクプレーヤ一体形テレビジョン受信機20は、薄形表示部1とディスクプレーヤ5とからなり、それぞれ別個の筐体2、3内に収納構成している。

【0017】薄形表示部1は例えば液晶または薄型陰極線管からなり、筐体2内にテレビジョン信号受信回路およびスピーカ（いずれも図示せず）と共に所定に組み込まれている。

【0018】筐体2の裏面側には図4に示すごとく、上端側近傍の2箇所に鉤形の凹部10を対称形に、中央部に凹部11を所定に配設している。凹部10、11は後述のディスクプレーヤ5を収納した筐体3と一体的に係止すると共に、略平行移動（ズラせる）ために配設している。

【0019】ディスクプレーヤ5は筐体3の上端側中央部に格納され、光ディスク6搭載台が所定に出入りすることく構成している。

【0020】筐体3は前記筐体2の凹部10、11とそれぞれ対応することく2箇所の鉤形部7と1箇所の凹部8とを配設している。

【0021】本発明装置は前記筐体2、3を一体化する手段としてさらに連繋部材14が用意されている。

【0022】連繋部材14は矩形平板からなり、先端部の両側端面に出入り可能に支軸13を4箇所配設している。支軸13の出入り機構は支軸の嵌合する穴内に圧縮コイルバネなどを所定に組み込むこと等により容易に構成できる。

【0023】連繋部材14の一端側の支軸13を、筐体2の凹部11内壁面に対称に設けた2箇所の穴12にそれぞれ嵌合させる。嵌合に際し、支軸13を矢印方向に引っ込めて実施することは言うまでもない。

【0024】次に、連繋部材14のもう一方の支軸13

を同じ方法により、ディスクプレーヤ5を収納してなる筐体3の凹部8内に設けた2箇所の穴9に所定に嵌合させる。この構成により筐体2、3はリンク機構を構成する連繋部材14により一体的に連繋され、かつ相対的に平行移動可能となる。図2に筐体2、3を相互に略平行移動させた（ズラせた）状態を示す。

【0025】この場合、筐体2の下端部は筐体3の折り曲げ部4により支承される。図3に、ディスク搭載台を引き出し、ディスクをセットした状態を示す。ディスク搭載台を元の位置に格納しプレイを開始することにより、コンパクトディスクや、光ディスクの音楽と映像を視聴できる。勿論この場合に、テレビジョン受信機をモニタ機能に切り替えることは言うまでもない。

【0026】図5、図6に本発明のもう一つの実施例のディスクプレーヤ一体形テレビジョン受信機30を示す。

【0027】図5は正面方向から見た斜視図、図6は後面方向から見た斜視図を示す。この場合のディスクプレーヤ一体形テレビジョン受信機30は、把手16を筐体15の上端面側で、かつ筐体15の背面側に格納可能に、すなわち把手16を出入り可能に構成した点が図1の筐体2と異なる。

【0028】把手16はテレビジョン受信機30の持ち運びや、筐体2と筐体15との組み立て、分解を容易にするため備えている。

【0029】また、筐体15の背面側すなわち把手16の格納側面に、鉤形の凹部17を2箇所対称形に所定に配設することにより、本テレビジョン受信機30を壁掛け型テレビジョン受信機として活用することができる。

【0030】なお、上記実施例においてテレビジョン受信機の後面側に一体的に配設する装置としてディスクプレーヤの例を述べたが、ディスクプレーヤは別段任意の機器・装置であってよいことは言うまでもない。例えばフロッピーディスクドライブまたはVTRなどをを用い構成してよい。

【0031】（実施例2）図7は本発明の一実施例における乗り物用シート75の側面図を示す。

【0032】乗り物用シート75は例えば航空機または乗用車または車両用として用いることを目的とする。

【0033】シート75はシート（座席）の背もたれ背面側に実施例1で述べたディスクプレーヤ一体形テレビジョン受信機20または30を出入り可能に格納してなる。液晶または薄型陰極線管からなる薄形表示部71と光ディスクなどのディスクプレーヤ収納筐体72とから構成してなる。

【0034】ディスクプレーヤ収納筐体72は背面側に軸受部73を備え、背もたれ部76背面の凹部77内に配設した支柱74に摺動可能に嵌合している。すなわち、シート75の背もたれ部76にディスクプレーヤ一体形テレビジョン受信機を出入り可能に格納してなる。

10

20

30

40

50

【0035】ディスクプレーヤの代わりにVTRを一体化させてよいことは実施例1と同様である。

【0036】

【発明の効果】以上の実施例から明らかなように、本発明は映像機器の奥行き寸法を小さくコンパクトに構成し、また据えつけ面積を少なくする。また、壁掛け型の映像機器を構成したり、乗り物用シート背面への格納を可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるテレビジョン受信機の正面方向から見た斜視図

【図2】図1において薄形表示部の筐体とディスクプレーヤの筐体とを相対的に略平行移動した状態の斜視図

【図3】図2において光ディスク搭載部を引き出した状態の斜視図

【図4】薄形表示部の筐体とディスクプレーヤの筐体とを分解した状態の斜視図

【図5】本発明のもうひとつの実施例におけるテレビジョン受信機の正面方向から見た斜視図

【図6】図5の実施例におけるテレビジョン受信機の背*20

*面方向から見た斜視図

【図7】本発明の一実施例におけるシートの側面図

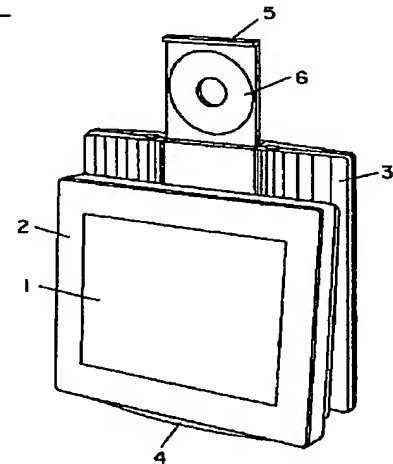
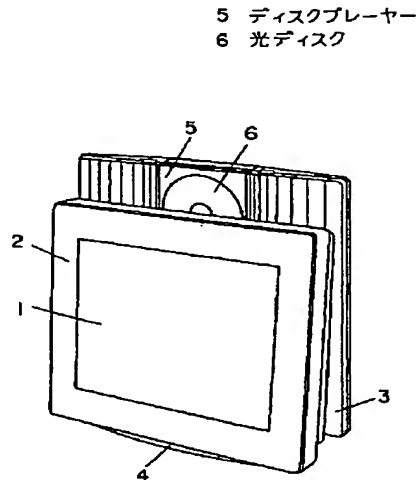
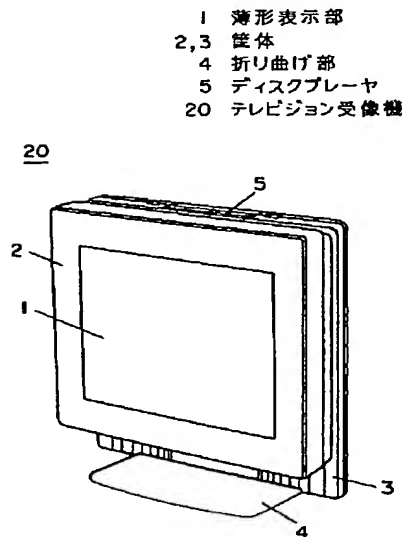
【符号の説明】

- 1, 71 薄形表示部
- 2, 3, 15 筐体
- 4 折り曲げ部
- 5 ディスクプレーヤ
- 6 光ディスク
- 7 鉤形部
- 8, 10, 11, 17, 77 凹部
- 9, 12 穴
- 13 支軸
- 14 連繋部材
- 16 把手
- 20, 30 テレビジョン受信機
- 72 ディスクプレーヤ収納筐体
- 73 軸受部
- 74 支柱
- 75 シート
- 76 背もたれ部

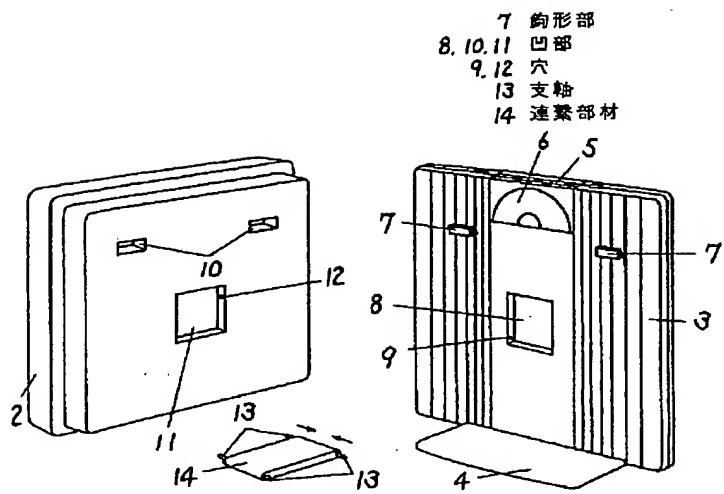
【図1】

【図2】

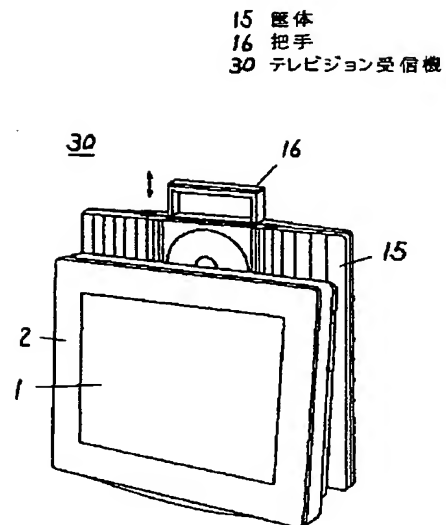
【図3】



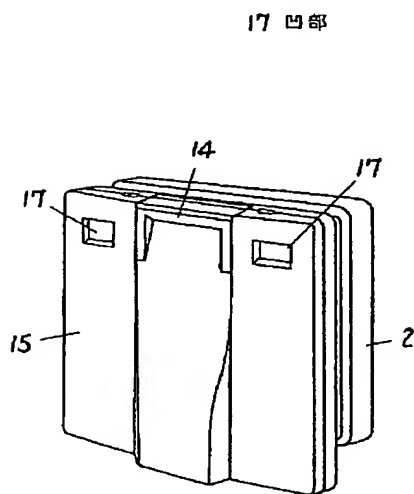
【図4】



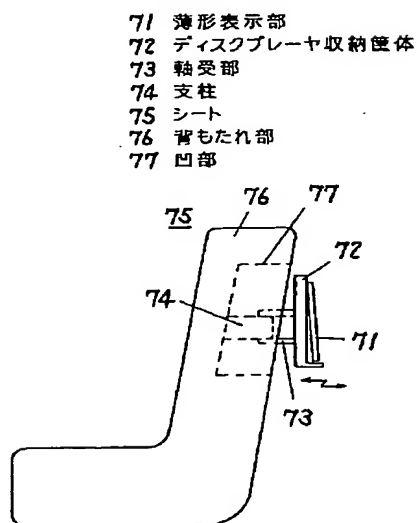
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶
H04N 5/781

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

(72)発明者 志水 薫
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内